

遮断ルーフGr 標準施工手順

設計図面及び必要パネル数の確認



たるきの施工

- たるきを遮断ルーフGrの対応モジュールで施工します。(たるき寸法は遮断ルーフのサイズに合わせた材をご使用下さい)
既成サイズのパネルを嵌め込むため、たるきの施工寸法精度に十分ご注意ください。
設計上のクリアランスは2mmとなっております。(断熱材側面の凸形上部を除く)
- たるきの緊結 : たるきと軒桁・母屋等の緊結はたるきの欠き込みをしない施工を標準とします。
- 各種金物の施工 : たるき止め金物は遮断ルーフの施工に干渉しない物を使用して下さい。



パネル受け材の取り付け

- 施工時パネル落下防止のため、パネル受け材をたるき下面に取り付けます。パネルジョイント部分、パネル中間部(適宜)に設置します。



遮断ルーフの取り付け

- 指定サイズの遮断ルーフGrを嵌め込んでいきます。パネルはたるきの下端まで押し込み、遮熱層の両端を持ち遮熱層を立ち上げます。
立ち上げた遮熱層の両端をたるきの上に重ね、タッカー等(@300程度)で固定します。
※嵌め込む前に、遮熱層をいったん立ち上げて慣らしておく、遮熱層の立ち上げがスムーズに行えます。
- たるき間寸法が部材より大きい等、断熱材の嵌め込みが緩く遮熱層がうまく立ち上げられない場合、同梱の断熱材固定部材を使用して固定します。(裏面の剥離紙を剥がし貼り付け後、上面よりタッカー留めします)
※小屋裏側での気密施工(アルミテープ貼り)をする場合も、同様に断熱材固定部材を使用してください。



野地板の施工

- 遮断ルーフGrを施工した部分より順次野地板を張ります。



遮断ルーフの加工・表面テープ貼り

- たるきの長さに合わせて遮断ルーフGrを加工します。
- 遮断ルーフGrの継手部分(短手側)は、通気層を連続させるため遮熱層の屋外側にアルミテープを貼ります。



(小屋裏の気密工事) ※推奨施工となります

- 屋根面を気密施工とする場合は、別売りのアルミテープ(PKAL5050・PKAL10050)を使用し、たるき-遮断ルーフGr間・遮断ルーフGrの継ぎ手部分に 貼り付けてください。
- 気密工事をする場合は、受け材を外してアルミテープ貼り付け後、たるき下面にボード類を施工してください。



断熱補強(現場発泡)

- 遮断ルーフGrと木部の取り合い部分(軒桁、棟梁部分)の断熱欠損を防ぐ為、別売りの一液型発泡ウレタンを吹付けます。ウレタンを吹付ける際は通気層を塞がない様に注意します。



棟換気・小屋裏換気部材の取り付け

- 遮断ルーフGrの遮熱効果を保つ為に棟換気・小屋裏換気を取り付けます。



点検・片付け・清掃